

校長室の窓から

長門市立深川中学校

校長室だより

2021.10.11 No.23

秋空の下、1年生がふるさとのよさを学ぶために校外で学習 ながとに学び、未来に生きる力を



10月6日（水）の午前中、1年生がグループに分かれて、スクールバスや徒歩で長門市内を散策しました。写真は湊漁港にある妙見山から市内を展望している様子です。このグループは、文化財専門員の上田穰さんの案内で、正門市旧道から湊へ向かい、旧海岸線の堤防を探したり、市役所の5階まで階段を上ったりして、深川地区を探訪していました。

ほかのグループも通地区の散策とくじら資料館、金子みすゞ記念館、香月泰男美術館や村田清風記念館、俵山の寺社や滝、日置地

区の醤油工場や二位の浜を訪れ、それぞれが設定した学習テーマや課題に沿って学習を深めていました。

本校の1年生は、ふるさと学習として「私たちのまちながと」と題し、各自で課題を設定して、ふるさとのすばらしさや問題点を確認し、課題解決の方法を調べたり考えたりしています。長門市には、人や自然、産業や施設、歴史や文化など多くの学習素材があります。本校では、それらの豊富な学習素材を生かして未来を生き抜く資質・能力を高めるとともに、ふるさとに愛着と誇りをもった生徒を育てていきたいと思ひます。1年生の学習の成果は、文化祭当日に見ていただく予定です。

参観日にご来校いただきありがとうございました

10月5日から3日間、学年別に実施した参観日では、延べ84人（82家庭）の参観者がありました。1、2年生にとっては初めて保護者の方の参観授業でしたが、それぞれの教室で落ち着いて学習に取り組んでいました。感染症対策にもご協力いただき、ありがとうございました。今回参観できなかった皆様には、参観日の休日開催がかなわずに申し訳なく思ひます。

先週10月30日（土）に開催する文化祭のご案内文書をお届けしました。入場制限やリスクの高い活動の中止等、感染拡大対策を講じながら、生徒の学習の成果を見ていただく機会としています。保護者の皆様のご来場をお待ちしています。

10月から年度の後半スタート！節目を大切に！

10月の全校集会では、10月1日から令和3年度の後半が始まること、様々な節目を意識して気持ちを切り替え、中学校生活を充実させてほしいことなどを話しました。中間テストまで1週間。生徒の努力を期待しています。

【学舎の隅で】▼今年目標の年間600kmのランニングが、まもなく500kmに達します。「校長先生、昨日走ってましたね」と声をかけてきた男子生徒がいました。恥ずかしいけど励みになります。

深川中学校区探検 その⑨

【妙見山（長門市湊漁港）】

長門市湊漁港にある妙見山は、標高43mで、山というよりも小島というイメージです。本校校舎の3階からもよく見えます。妙見山は北極星を信仰の対象にする山で、全国に50か所以上あり、長門市では油谷地区にもあります。（標高275m）

